

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第790回）
中国電力株式会社に関する指摘内容

令和元年10月31日
原子力規制庁
新基準適合性審査チーム

【LOCA時注水機能喪失】

- 再循環ポンプ停止の慣性定数を実際の挙動と異なる設定としている理由及び影響を説明すること。
- 自動減圧機能阻止に関するインターロックについて、検討結果を説明すること。
- 主要解析条件における「逃がし安全弁の弁数」はLOCA、ISLOCAでは「6弁開」であるが、長期TB、TWでは「2個開」となっているため、他の事故シーケンスも含めて、逃がし安全弁個数の考え方を整理して説明すること。
- 燃料被覆管温度について、露出時間の差異、蒸気による影響を踏まえて、燃料被覆管温度が最も高くなるノードを説明すること。
- 輪谷貯水槽（西）から大量送水車を用いた低圧原子炉代替注水槽への注水手順について、整理して説明すること。

【格納容器バイパス（ISLOCA）】

- 解析条件（破断箇所の隔離時間）の見直しについて、ブローアウトパネルの流路面積の設定の考え方について整理して説明すること。また、既設ブローアウトパネルを減らすことによる他の解析への影響についても示すこと。
- ブローアウトパネル開放の信頼性について定量的に説明すること。
- 弁の隔離場所へのアクセスルートについて、有効性評価として評価しているA系以外の系統についてもアクセス性や環境条件等を詳細に説明すること。
- 漏えいした蒸気の回り込みの影響について放出経路を具体的に説明するとともに、蒸気による他の安全重要な機器への影響を説明すること。
- 漏えいによる溢水の影響を評価している条件及び結果について詳細に説明するとともに、当該溢水による他の施設への影響についても説明すること。
- 敷地境界の実効線量の評価結果が、約3.9mSvとなっているが、評価の過程及び評価結果について、ブローアウトパネルとの関係も含めて整理して説明すること。
- ISLOCA発生の検知手段について、系統による検知器の設置位置や種類が異なる場合の、漏えい検知性について詳細に説明すること。

以上